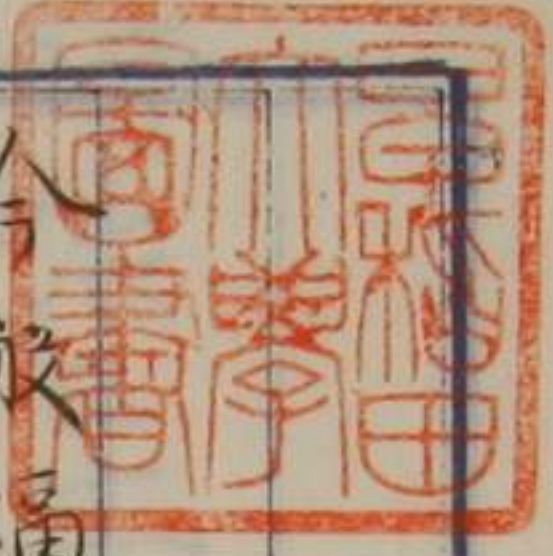


114
A1311



土中

私共儀

今般福島縣官有林野引度申請、聞之陳情、為、
出京仕候、付概略ノ事情、親、而陳仕度得共為、
為内矣考別紙陳情書奉呈度也

明治三十一年六月一日

福島縣安積郡三代村

全縣農保人民級代 二瓶貞四郎

全縣石川郡中谷村

全縣 大野常吉

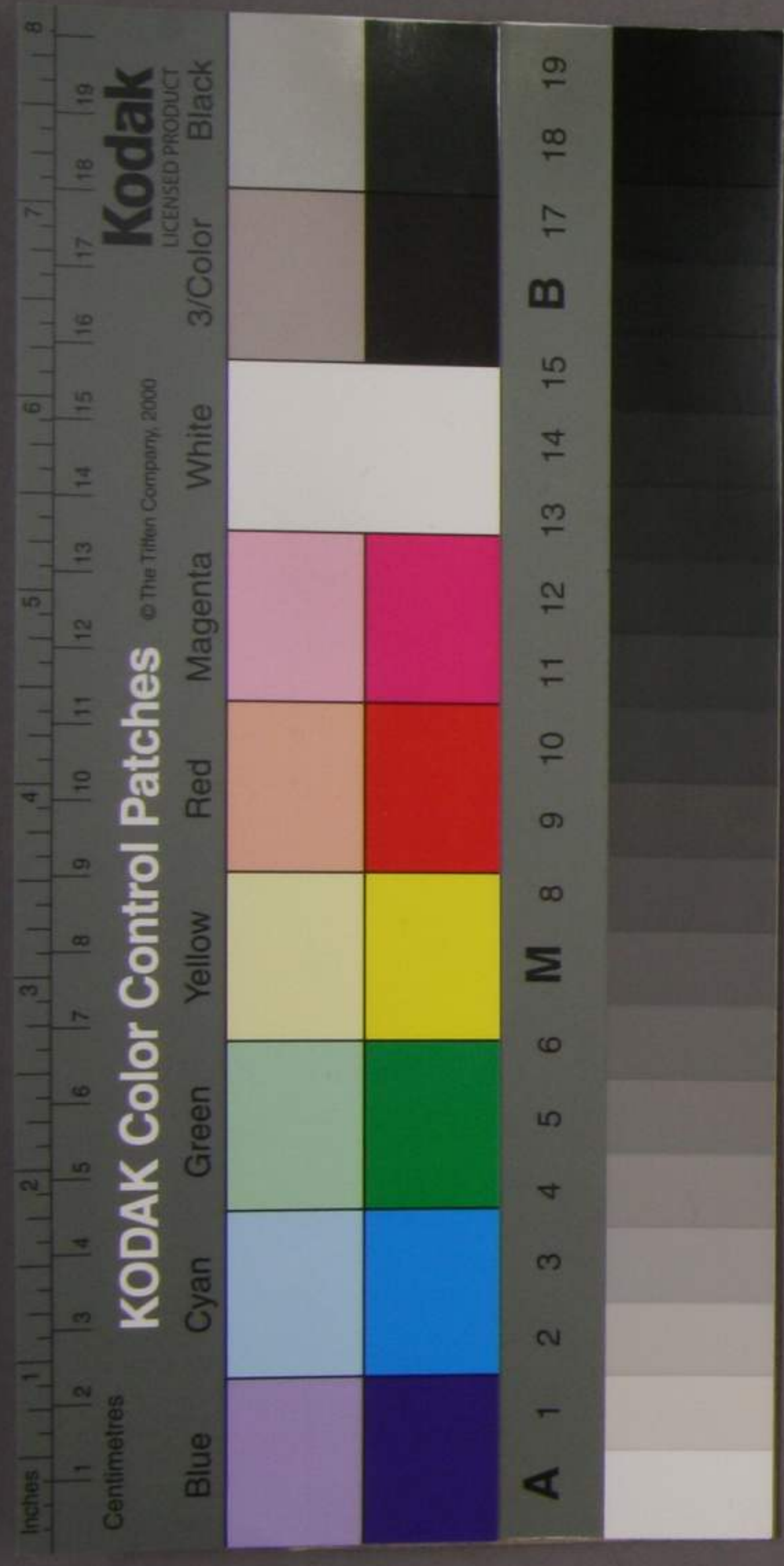
全縣石城郡三坂村

全縣 田子英吉

全縣全郡下小川村

大正十一年四月
大隈郵局寄附

2774



官有山林原種引戾ニ関スル陳情書

明治三十一年八月一日

福島縣關係人民總代

台

吉田正文



官有山林原野引戻ニ關スル陳情書

改祖前ニ於ケル山野ノ類別

山野改祖以前ニ於ケル山林原野ノ制度慣行ヲ

按スルニ各藩少異アリト虽概不左ノ數種ニ區

分セラレタリ

一 御林

幕府ヨリ封土ト共ニ付共セラレタルモノ又ハ藩主ニ於テ栽植モタ
ルモノニシテ許可ヲ得ルモノアリテハ濫ヲ切伐ヲ許サズシモノ
ニシテ官民供用林ノ性質ヲ帯ヒタルモノ

二 社寺林

社寺ノ所領ヲシモノ

三 御用木山

一個人持山中某種ノ樹木ニ限リ伐採ヲ禁セラレシモノニシテ他ノ全ク人民
ノ自由ニ委シクシテ元ニ本松領寺ニ此類多シ

四 人民一個人持山

各林持山寺ト稱シ全ク一個人所領ノ屬シタルモノ

五 村持山

一村持林場萱川場新炭林等ニシテ一村ノ共有トシモノ

六 入會山

川敷山草山寺ト稱シ數村入會肥料林寺ヲ採收シタルモノ

七 持主未定山

野良山寺ト唱ヘ持主未定ナリシ外山ニシテ誰ニテモ同登植林寺ノ業
ヲ隨意ニ為スルヲ得タルモノ

以上類別ノ内第五第六ハ其村ノ持高ニ隨伴シ
村落ノ存立ニ至緊ノ關係ヲ有セルモノニシテ
其多少ニヨリ田畑ノ租額ヲ増減シタルモノナ
リ

山野改祖當時ノ真相亦ハ改祖後ノ実況

前章ニ叙述シタル各種ノ山野ヲ合計スルハ其
及別百餘萬町歩ニモテ内山野改祖ノ際民有ト
シテ調査シタル及別實ニ五拾六萬六千五百四
拾餘町歩ナリトス然ルニ民有ト認メラシタル
モノハ僅カニ前章第四ニ掲ケタルモノニシテ
拾七萬貳千百餘町歩ニ止マリ他ハ悉皆官地ニ
編入セラシタリ

我福島縣官民有區別ノ斯ノ誤マシキ所以ハ當

時縣廳ニ在リテハ士族就産ノ為メ多大ノ原野
ヲ要スタルト從前無税若クハ無税ニ等シキ土
地ニ對シ俄ニ多額ノ納税ハ村民ノ負擔ニ堪ヘ
ザル一キヲ慮リ少シキ等ノ事情ヨリ町村若クハ
部落共有等一筆ニシテ多及別ノ地所ハ成ルヘ
ク官有ニ為スノ方針ヲ取り明治八年地租改正
事務局ニ第三子達(別紙参考書ニテ)ノ逐々人
民ヲシテ知ラシメテラリシテ蓋シ當時ニ在リ
テハ人民概シテ權義ノ何タルヲモ弁セズ或ハ封
建ノ餘習官命ト云ハ如何ナシ事ヲモ拒ムコ
ト能ハサルモノトモ或ハ及令官地ニ編入セラ
ルモノモ使用收益ノ慣行ハ依然占有ニ得ラレ
モノト思惟ヒ且ツ偶々一二官吏ノ説諭ニ服セ

ナルモノアリテ民有ニ取調タル及別ヲ減セザ
ルトキハ調査済ニ認可ヲ與ヘス即チ當時ノ官
吏ガ強制的ニ官民有ノ區別ヲ誤リタルモノト
スル未漸ノ年行ヲ經ルニ從ヒ諸法令亦隨テ完
備ニ官有林野ノ取締嚴重ナルト共ニ實際上ノ
不便ヲ覺知スルニ至リ就中大林區署設置以
來曾テ慣行ニヨリ入山シタルモノニシテ官林盜
伐等ノ罪名ノ下ニ刑辟ニ觸ルモノ頻々タル
ニ及ヒ漸ク曩日ノ盲從誤解ヲ覺知スルニ至リ
明治廿四年以來(元會津鎮西五郡ハ明治十八年三島縣令
ノ除九分町界ヲ引戻シタル)引戻シノ請
願続出スルニ至リ民有トシテ取調タル及別五
拾六萬六千五百四拾餘町歩ハ從來慣行アル秣
場肥料刈取場薪炭林放牧場等農業上密接ノ関

係ヲ有スル土地ノニナリトス然ルニ民有ニ査
定セラレタルモノハ一個人持若クハ數名共有
ノ小及別ノモノニシテ大ナル地所ヲ奉ケ
テ官有ニ強制セラレタルカ故其結果ハ田畑ヲ
耕作モテ生業トシ得ル村方ハ割合ニ民有山
野ニ富ミ山稼ヲ專業トシタル山間ノ村落ハ
却テ民有山野ニ乏キノ不權衡ヲ承スニ至リ
從來御林ト稱セシ場所ハ其反別僅カニ拾万町
歩ニ過キテラレト至而カモ尚下草下柴等ハ地
元人民ハ採收ヲ許サレタルノニナリテ用材ノ
如キモ自家用料カ下賜セラレタルモノニ
シテ實際上官民共用林トモ稱ス一キ慣行ヲ有
セシモノナリ然レニ此御林ナルモノハ勿論此

他人民カ自由ニ任セシ地所而カモ人民カ生活
 ノ資トモ未リタル地所ヲモ奉ケテ官有トシテ
 量弁ニ帳簿調製等少ナカラサル費用ノ負擔ヲ
 為シタルニ関ハラズ慣行アル收益權ヲモ沒收
 セラルルニ至リテハ時勢ノ變遷止ムヲ得ケル
 カ如シト雖往時ヲ追懐シテ感慨ニ堪ヘサルモ
 ノアリ殊ニ資ヲ山野ニ仰キ生命ヲ其所得ニ托
 スルモノニ在リハ殆シト生計ノ途ヲ夫レ飢餓
 ニ瀕スルモノアルニ至ル豈慘事ト云ハテハ可
 ケニヤ因テ茲ニ請願ノ要旨ヲ概括セハ
 一明治八年地租改正事務局乙第三号達ニ恰
 當スルモノハ速ニ下戾サレタキ事
 二下戾スレキ理由ノ薄弱ナルモノハ低價ヲ

以テ拂下ケラレタキ
 三前二項ニ依リ難キモ山稼ヲ以テ生活ノ資
 トモ未リタル村落ハ其業ヲ續行スルニ
 足ル一キ永借若クハ使用權ヲ付與セテシ
 度事
 今日ノ制規上ヨリ形式ニ觀ヒ未レハ以上ノ請
 願ハ稍妥當ナラサルカ如キモノ之レアルニ
 ト至テ本縣ハ前述ノ如キ特殊ノ事情アルニ
 特ニ出格ノ即詮議アラシメトテ謹テ相願仕
 候也
 参考
 一山野改正ニ関スル法例別紙印刷物添付
 一福島縣山林原野概計ハ左ノ如シ

山林八拾壹万二千五百五拾八町步
原野貳拾万五千貳百七拾町步

合計百壹万六千九百廿八町步

内 訳

御料地

山林拾壹町步
原野三千八百五町步

官有地

官林二拾八万三千三百町步
山林拾壹万三千町步
原野拾七万四千八百町步

民有地

山野七拾万七千三百四町步
原野貳万四千三百七拾六町步

備考

一 民有地五万五千餘町步トナリタハ左ノ如シ

拾七万貳千百餘町步

北祖改正除民有査定高

内貳万五千七百七拾町步

新設縣ノ管轄替ノ分

八萬町步

會津上郡ニテ引戻高

貳万四千四百七拾町步

改祖後拂下等ヲ受タハ高

一 官林四拾八万三千三百町步ノ内訳ハ左ノ如シ

拾万二千三百町步

各藩ヨリ引継クハ御料
并ニ社寺ノ山林

參拾八万町步

世年山林又ハ官有地
ヨリ官林ニ編入高

外

貳拾八万町步

官有地ハ林七本年一月
大林区署ニ引替

